

## 第17回グリーン経済部会 議事録

日時：2008年3月27日（木）18:30～21:00

場所：東京都南部労政会館 第一会議室

参加者：庄司、井田、宇郷、松下、古田

加藤、藤村

（敬称略）

### 【庄司さんの資料をもとに】

- ・ 業態も色々ある。一律の評価は難しい。また、資格なので、定量化できないものもある。
- ・ 10項目の中からいくつか選んで評価する方法もある。
- ・ 項目（3）は定量化が困難であろう。
- ・ これは、事務局の評価のためのもの（審査基準）で、審査する側の基準とする。
- ・ もともとは本人が評価するのが目的だが、選んだときの評価基準を聞かれる可能性はあるので、このような事務局側の資料も必要ではないか。ただし、あくまで自己評価でいいのではないか。
- ・ 企業の業務評価はまず自己申告が原則で、次に上司評価というケースが多い。自分がつけた点は曖昧だから、審査基準も必要ではないか。
- ・ 項目によってメリハリをつけてもいい。
- ・ 中小企業にも頑張ってもらいたい。レポートなど出していなくても頑張っている企業はあるので、その辺りは是非評価したい。
- ・ 最初から厳しい評価基準でやるのではなく、1～2年は自己申告評価をベースに手探りでもいいのではないか。
- ・ 表彰するのなら、やはり審査基準は必要。ただ発表の場とするなら、それなりのやり方はある。自分自身の評価を裏付ける資料を添付してもらおう方法もある。

### 【加藤・井田さんの資料をもとに】

- ・ 平均点を3点とし、基本的に絶対的価値の追求を基準にしている。
- ・ 加藤、井田さんの資料は、同じような視点で作られており、この2つは調整できる。
- ・ 基準点が3点だが、基本的には自分のためにやっている程度なら3点で、人のため・社会のためにやっているなら5点か。
- ・ 6月に予告（海外：CO2対策と絡めてプレス）して、10月から募集開始。2月16日表彰式というスケジュールでやりたい。
- ・ 事前に、各地でシンポジウム（商工会議所、JC等と協力）を開催し、考え方を広め、募集を増やすことも効果的ではないか。

- ・ 思っていることは人によって異なる。どの程度思っているかをスタートにするか。どの程度会社経営に活かしているかを一つの尺度にする考え方もある。

#### 【結論として】

- ・ まずは自己採点をしてもらう。そのうえで、こちらの基準で判断する。但し最初から厳格な基準ではなく、最初は緩やかな基準で、やっていることを激励するような姿勢で臨む。
- ・ 個々では環境と直結していなくても、トータルで環境に結び付ければいい。
- ・ いいものは表彰する。いいことを発表してもらう場にする。
- ・ 点数のつけ方の基準として、1点は関心がない、あるいは活用していない、3点は、心がけているが、実行まではしていない、5点は、実行し効果を挙げている。
- ・ 解説書をつくる。その中に、環境文明がそれぞれの項目で、企業に対してどのようなことを期待しているかを明確に書くようにすれば、それが自己評価の際の視点・基準にもなる。
- ・ 事務局側の評価基準はもっておく。

#### 【次回に向けて】

- ・ 加藤、井田で調整をし、再度たたき台をつくる。それを元に次回は検討する。